

NO.7-1 技術基準（車両設計）

期 間：2日間

関東NO.7-1

開催日 2026年 7月29日(水)～2026年 7月30日(木)

募集期間 2026年 4月 1日(水)～2026年 7月15日(水)

関西NO.7-1

2026年 6月24日(水)～2026年 6月25日(木)

2026年 4月 1日(水)～2026年 6月10日(水)

鉄道に関する技術基準（車両編）及び実施基準・標準への制定・改正に至った事故事例等に関する知識を習得する講座

受講対象者 鉄道事業者の車両設計担当の方

目 標 車両の設計及び変更について、鉄道に関する技術基準（車両編）に関する専門知識及び設計標準等への反映について幅広く習得することを目指します。

目 的 鉄道に関する技術基準(車両編)の車両構造及び車両保全に関する条文の制定経緯及び車両故障が車両の設計変更や設計標準等に反映された事例を解説し、車両の設計、変更を行う上で必要な知識を講義します。

講 師 (一社)日本鉄道運転協会 安全企画部長 湯田 豊人 氏
一部調整中

講義内容 1. 技術基準（車両編）の制定
2. 省令制定化の概要
3. 省令改正に反映された事故・インシデントについて
4. 技術基準（省令）と車両構造等設計標準、整備標準等
5. 設計標準、整備標準等の制定・改正に至った事故事例

受講料 ・正会員：46,000円（税込）（個人正会員、及び団体正会員の会社・団体に所属する社員）
（資料代「鉄道に関する技術基準（車両編）－第四版－」6,600円（税込）および「鉄道に関する技術基準（車両編）別冊」2,000円（税込）を含む）
・非会員：54,000円（税込）
（資料代「鉄道に関する技術基準（車両編）－第四版－」6,600円（税込）および「鉄道に関する技術基準（車両編）別冊」2,000円（税込）を含む）
・リモート受講の場合も対面受講の場合と同額となります。

その他 ・本講座は、関東、関西の区別なく受講が可能です。
・リモート受講を併用するので、遠隔地からの受講も可能です。

2026年度車両技術講座 受講申込書

講座名 関東NO.7-1 技術基準（車両設計）

標題について、下記の通り受講の申し込みをします。

| 受講者氏名 | 年齢 | 会社名・勤務先・職名 | 電話 | E-mail アドレス | 受講形式 | リモート受講の可否 | 団体会員 | 個人会員 | 記事 |
|-------|----|--------------------------------|-------------|---------------------|------|-----------|------|------|----|
| | | | | | | | | | |
| | | 【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | 【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | 【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】 | | | | | | | |
| (記載例) | ◇ | 〇〇(株) 運用車両△△部 〇〇課 主任 | ××-×××-×××× | ****-****@***.**.jp | リモート | ○ | ○ | ○ | |

- ①講座は関東、関西で開催となりますが、関東、関西の区別なく受講が可能です。受講申込書は関東、関西を間違わないようにご使用ください。
- ②講座は対面またはリモートによる受講となりますので、どちらで受講されるかを「受講形式」欄にご記入下さい。
- ③リモートの場合、Zoomとなります。
- ④万一对面による講座が開催できない状況下ではリモートのみの開催も検討します。その場合はZoomとなりますが、リモートになった場合でも受講される場合には「リモート受講の可否」欄に○を記入願います。
- ⑤リモート受講を希望される方には、事前に講義資料をお送りしますので、資料送付先住所を忘れずにご記入ください。なお、資料送付先が受講者ご本人以外の場合は、その宛先と住所をご記入ください。
- ⑥「団体会員」、「個人会員」欄は該当する場合、○を記入願います。

| 責任者ご氏名 | 会社名・お役職名 | 電話 | E-mail アドレス | 記事 |
|--------|----------|----|-------------|----|
| | | | | |

2026年度車両技術講座 受講申込書

講座名 関西NO.7-1 技術基準（車両設計）

標題について、下記の通り受講の申し込みをします。

| 受講者氏名 | 年齢 | 会社名・勤務先・職名 | 電話 | E-mail アドレス | 受講形式 | リモート受講の可否 | 団体会員 | 個人会員 | 記事 |
|-------|----|--------------------------------|-------------|---------------------|------|-----------|------|------|----|
| | | | | | | | | | |
| | | 【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | 【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | 【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】 | | | | | | | |
| (記載例) | ◇ | 〇〇(株) 運用車両△△部 〇〇課 主任 | ××-×××-×××× | ****-****@***.**.jp | リモート | ○ | ○ | ○ | |

- ①講座は関東、関西で開催となりますが、関東、関西の区別なく受講が可能です。受講申込書は関東、関西を間違わないようにご使用ください。
- ②講座は対面またはリモートによる受講となりますので、どちらで受講されるかを「受講形式」欄にご記入下さい。
- ③リモートの場合、Zoomとなります。
- ④万一对面による講座が開催できない状況下ではリモートのみの開催も検討します。その場合はZoomとなりますが、リモートになった場合でも受講される場合には「リモート受講の可否」欄に○を記入願います。
- ⑤リモート受講を希望される方には、事前に講義資料をお送りしますので、資料送付先住所を忘れずにご記入ください。なお、資料送付先が受講者ご本人以外の場合は、その宛先と住所をご記入ください。
- ⑥「団体会員」、「個人会員」欄は該当する場合、○を記入願います。

| 責任者ご氏名 | 会社名・お役職名 | 電話 | E-mail アドレス | 記事 |
|--------|----------|----|-------------|----|
| | | | | |